

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Tomohito SHIDA

Serial No.: To Be Assigned

Filed: October 23, 2000

For: **METHOD, SYSTEM, AND APPARATUS
FOR ACCEPTING TRANSACTION
RESERVATION, AND RECORDING
MEDIUM**

Group Art Unit: Unassigned

Examiner: Unassigned



#2

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Honorable Commissioner of
Patents and Trademarks
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-074889
Filed: March 16, 2000

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: October 23, 2000

By: _____

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: March 16, 2000
Application Number: Patent Application No. 2000-074889
Applicant (s): FUJITSU LIMITED



August 25, 2000
Commissioner, Patent Office
Kozo OIKAWA

Patent application 2000-074889

[Name of Document]	Patent Application	
[Reference Number]	9990388	
[Date of Filing]	March 16, 2000	
[Destination]	Commissioner, Patent Office	
[International Patent Classification]	G06F 17/00	
[Title of Invention]	METHOD, SYSTEM, AND APPARATUS FOR ACCEPTING TRANSACTION RESERVATION, AND RECORDING MEDIUM	
[Number of Claimed Inventions]	8	
[Inventor]		
[Address]	c/o FUJITSU SOCIAL SYSTEMS ENGINEERING LIMITED, Gotanda-AN Bldg. 22-1 Higashigotanda, 1-chome, Shinagawa-ku, Tokyo	
[Name]	Tomohito SHIDA	
[Applicant]		
[Identification Number]	000005223	
[Name]	FUJITSU LIMITED	
[Attorney]		
[Identification Number]	100078868	
[Patent Attorney]		
[Name]	Takao KOHNO	
[Telephone Number]	06-6944-4141	
[Indication of Official Fee]		
[Register Number]	001889	
[Amount]	¥21,000	
[List of Annexes]		
[Name of Article]	Specification	1
[Name of Article]	Drawings	1
[Name of Article]	Abstract	1
[Number of General Authorization]	9705356	
[Proof]	Needed	

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 3月16日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-074889

出 願 人

Applicant (s):

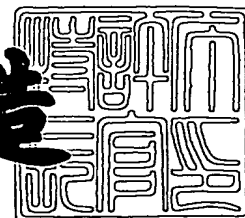
富士通株式会社



2000年 8月25日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3068716

【書類名】 特許願

【整理番号】 9990388

【提出日】 平成12年 3月16日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/00

【発明の名称】 取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体

【請求項の数】 8

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区東五反田一丁目22番1号 株式会社富士通ソーシャルシステムエンジニアリング内

【氏名】 志田 智仁

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100078868

【弁理士】

【氏名又は名称】 河野 登夫

【電話番号】 06-6944-4141

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001889

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705356

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも来店時間で区切られた時間帯毎に定められた取引対象の取引特典情報を複数の顧客に電子的に提示するステップと、

顧客によって選択された時間帯における取引予約情報を電子的に受け付けるステップと、

顧客の来店時間又は取引完了時間が前記受け付けた取引予約情報に係る時間帯に含まれる場合に取引予約対象の特典付取引を行うステップと

を含むことを特徴とする取引予約受付方法。

【請求項 2】 取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付方法において、

取引対象の取引における取引条件を決定するステップと、

決定した取引条件を表示するステップと、

表示した取引条件に基づいて取引対象の取引を行うことの予約を受け付けるステップと

を含むことを特徴とする取引予約受付方法。

【請求項 3】 前記取引条件を決定するステップは、取引の予約の予約状況に基づいて取引条件を決定するステップであることを特徴とする請求項 2 に記載の取引予約受付方法。

【請求項 4】 前記予約を受け付けるステップが予約を受け付けているか否かを確認するステップを更に含むことを特徴とする請求項 2 又は請求項 3 に記載の取引予約受付方法。

【請求項 5】 前記確認するステップによって受け付けられていることが確認された予約に係る取引の取引条件に基づいて該取引における特典を決定するステップと、

決定した特典を提供するステップと

を更に含むことを特徴とする請求項 4 に記載の取引予約受付方法。

【請求項 6】 複数の端末装置と、該端末装置夫々と接続され、取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付装置とを備える取引予約受付システムにおいて、

前記取引予約受付装置は、

取引対象の取引における取引条件を決定する取引条件決定手段と、

該取引条件決定手段によって決定された取引条件を表示する取引条件表示手段と

を備え、

前記端末装置は、

前記表示された取引条件に基づいた取引対象の取引の予約の申込みを示す予約申込情報を受け付ける予約申込情報受付手段と、

該予約申込情報受付手段によって受け付けられた予約申込情報を取引予約受付装置へ送信する予約情報送信手段と

を備え、

前記取引予約受付装置は更に、

予約申込情報を受信した場合、受信した予約申込情報を記憶する予約申込情報記憶手段

を備えることを特徴とする取引予約受付システム。

【請求項 7】 取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付装置において、

取引対象の取引における取引条件を決定する取引条件決定手段と、

該取引条件決定手段によって決定された取引条件を表示する取引条件表示手段と

該取引条件表示手段によって表示された取引条件に基づいた取引の予約の申込みを示す予約申込情報が入力された場合、該予約申込情報を記憶する予約申込情報記憶手段と

を備えることを特徴とする取引予約受付装置。

【請求項 8】 コンピュータに、取引対象の取引の予約を受け付けさせるプログラムが記録してあるコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

コンピュータに、取引対象の取引における取引条件を決定させるプログラムコード手段と、

コンピュータに、決定させた取引条件を表示させるプログラムコード手段と、

コンピュータに、表示させた取引条件に基づいた取引の予約の申込みを示す予約申込情報が入力された場合、該予約申込情報を記憶させるプログラムコード手段と

を有するプログラムが記録してあることを特徴とするコンピュータでの読み取りが可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワーク上にて商品又はサービスの提供料金を開示し、この提供料金によって提供を受けることの予約を受け付ける取引予約受付方法、その方法を実施するための取引予約受付システム及び取引予約受付装置、並びにコンピュータをその装置として機能させる為のコンピュータプログラムが記録してある記録媒体に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

各種の商品又はサービスを提供する店舗においては、取り扱う商品又はサービスの性質に応じて、顧客が少なくなる時間帯（以下、閑散時間帯という）が存在する。例えばレストラン等の料理を提供する店舗においては、朝食時と昼食時との間及び昼食時と夕食時との間が閑散時間帯となり得る。一方、スーパーマーケット等では昼食及び夕食等の時間帯が閑散時間帯となり得る。

【 0 0 0 3 】

しかしながら商品又はサービスを効率的に提供するためには、このような閑散時間帯を可能な限り短縮することが望ましい。そこでこの閑散時間帯の短縮化を図るべく、通常料金よりも低価格に設定された割引料金により商品又はサービスを提供するタイムサービスが従来から行われている。

【 0 0 0 4 】

また、例えばスーパーマーケット等において、当日中に販売すべき商品であって営業終了間際まで残っている商品等は、いわゆる見切り品として割引料金にて提供することが一般に行われている。これにより、売れ残りとなる商品の数の最小化を図っている。

【 0 0 0 5 】

各店舗においては、このようなタイムサービス及び見切り品の提供（以下、割引サービスという）を行うために、通常料金が表示された値札及び料金表等を割引料金が表示された値札及び料金表等に変更する作業等を行っていた。また、割引料金にて商品又はサービスを提供することを宣伝するために、店頭での呼び込み及びチラシの配布作業等を行っていた。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述したような値札及び料金表等の変更作業、並びに店頭での呼び込み及びチラシの配布作業は、何れも人手によるものであるため、相当な労力が必要となり、迅速に行うことが困難であった。そのため、割引サービスにおいて設定される割引料金の額を、刻々と変化する状況に応じた適切な額に変更することが不可能であるという問題があった。

【 0 0 0 7 】

また同じく相当な労力が必要となるために、上述したような作業を大規模に行うことが困難であった。そのため、顧客は、割引サービスが行われていることを容易に知ることができないという問題があった。またこれに伴って、店舗においては、顧客の利用状況の平準化、すなわち閑散時間帯の短縮を図ることが困難であるという問題があった。

【 0 0 0 8 】

ところで、近年は通信環境の整備の進展に伴いインターネットに代表される通信ネットワークが急速に普及しており、このような通信ネットワークを利用して各種のサービスを提供するコンピュータシステムが実現されている。これらのコンピュータシステムは、人手による場合に比し、少ない労力で、迅速且つ大規模にサービスを提供することができる。

【 0 0 0 9 】

本発明はこのようなコンピュータシステムの進展に鑑みてなされたものであり、取引対象の取引における取引条件を定めてこれをネットワーク上で公開し、この取引条件に基づいた取引を行うことの予約を受け付けることによって、割引サービスが行われていることを、多くの顧客に対して迅速に伝えることができ、しかもその割引サービスの提供を受けることの予約を行うことができる取引予約受付方法、その方法を実施するための取引予約受付システム及び取引予約受付装置、並びにコンピュータをその装置として機能させる為のコンピュータプログラムが記録してある記録媒体を提供することを目的とする。

【 0 0 1 0 】

また本発明の他の目的は、割引サービスにおける割引率等の、取引における取引条件を、その取引の予約の予約状況に基づいて決定することによって、刻々と変化する状況に応じた適切な取引条件を決定することができる取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体の提供にある。

【 0 0 1 1 】

また本発明の他の目的は、特定の取引条件に基づいた取引を行う場合に、その取引の予約がなされているか否かの確認をすることによって、実際に予約をしているときに限ってその特定の取引条件に基づいた取引を行うことができる取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体の提供にある。

【 0 0 1 2 】

さらに本発明の他の目的は、特定の取引条件に基づいた取引の予約がなされていることが確認できた場合、この取引条件に基づいた取引を行う代わりに、その取引条件に応じた特典を与えることができる取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体の提供にある。

【 0 0 1 3 】

【課題を解決するための手段】

第 1 発明に係る取引予約受付方法は、少なくとも来店時間で区切られた時間帯毎に定められた取引対象の取引特典情報を複数の顧客に電子的に提示するステッ

プと、顧客によって選択された時間帯における取引予約情報を電子的に受け付けるステップと、顧客の来店時間又は取引完了時間が前記受け付けた取引予約情報に係る時間帯に含まれる場合に取引予約対象の特典付取引を行うステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

第 2 発明に係る取引予約受付方法は、取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付方法において、取引対象の取引における取引条件を決定するステップと、決定した取引条件を表示するステップと、表示した取引条件に基づいて取引対象の取引を行うことの予約を受け付けるステップとを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

第 3 発明に係る取引予約受付方法は、第 2 発明に係る取引予約受付方法において、前記取引条件を決定するステップは、取引の予約の予約状況に基づいて取引条件を決定するステップであることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

第 4 発明に係る取引予約受付方法は、第 2 発明又は第 3 発明に係る取引予約受付方法において、前記予約を受け付けるステップが予約を受け付けているか否かを確認するステップを更に含むことを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

第 5 発明に係る取引予約受付方法は、第 4 発明に係る取引予約受付方法において、前記確認するステップによって受け付けられていることが確認された予約に係る取引の取引条件に基づいて該取引における特典を決定するステップと、決定した特典を提供するステップとを更に含むことを特徴とする。

【 0 0 1 8 】

第 6 発明に係る取引予約受付システムは、複数の端末装置と、該端末装置夫々と接続され、取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付装置とを備える取引予約受付システムにおいて、前記取引予約受付装置は、取引対象の取引における取引条件を決定する取引条件決定手段と、該取引条件決定手段によって決定された取引条件を表示する取引条件表示手段とを備え、前記端末装置は、前記表示された取引条件に基づいた取引対象の取引の予約の申込みを示す予約申込情報を

受け付ける予約申込情報受付手段と、該予約申込情報受付手段によって受け付けられた予約申込情報を取引予約受付装置へ送信する予約情報送信手段とを備え、前記取引予約受付装置は更に、予約申込情報を受信した場合、受信した予約申込情報を記憶する予約申込情報記憶手段を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

第 7 発明に係る取引予約受付装置は、取引対象の取引の予約を受け付ける取引予約受付装置において、取引対象の取引における取引条件を決定する取引条件決定手段と、該取引条件決定手段によって決定された取引条件を表示する取引条件表示手段と該取引条件表示手段によって表示された取引条件に基づいた取引の予約の申込みを示す予約申込情報が入力された場合、該予約申込情報を記憶する予約申込情報記憶手段とを備えることを特徴とする。

【 0 0 2 0 】

第 8 発明に係る記録媒体は、コンピュータに、取引対象の取引の予約を受け付けさせるプログラムが記録してあるコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、コンピュータに、取引対象の取引における取引条件を決定させるプログラムコード手段と、コンピュータに、決定させた取引条件を表示させるプログラムコード手段と、コンピュータに、表示させた取引条件に基づいた取引の予約の申込みを示す予約申込情報が入力された場合、該予約申込情報を記憶させるプログラムコード手段とを有するプログラムが記録してあることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

第 1 発明による場合、少なくとも顧客が来店する来店時間で区切られた時間帯毎に定められた取引対象の取引特典情報を、複数の顧客に対して電子的に提示する。また、この提示を受けた顧客により選択された時間帯における取引の予約を示す取引予約情報を電子的に受け付ける。そしてこの予約を行った顧客の来店時間又はその取引が完了する取引完了時間が前記取引予約情報に係る時間帯に含まれる場合に取引予約対象の特典付取引を行う。

【 0 0 2 2 】

このように、取引特典情報を電子的に提示することによって、タイムサービス及び見切り品の提供等の特別なサービスを行っていることを多くの顧客に対して

迅速に伝えることができる。

【 0 0 2 3 】

また、取引予約情報を電子的に受け付けることによって、顧客は地理的な制約を受けることなく取引の予約を行うことができ、この予約に基づいた取引を行うことによって取引特典情報に示されている特典を享受することができる。

【 0 0 2 4 】

なお、ここで取引完了時間とは、店舗にて商品を購入する場合はその購入を行う時間であり、またサービスの提供を受ける場合であればその提供を受ける時間である。

【 0 0 2 5 】

第 2 発明、第 6 発明、第 7 発明及び第 8 発明による場合、取引対象の取引における取引条件を決定し、この決定した取引条件を表示する。そして、この表示した取引条件に基づいて取引対象の取引を行うことの予約を受け付ける。

【 0 0 2 6 】

このように、定めた取引条件を公開することによって、特別なサービスを行っていることを多くの顧客に対して迅速に伝えることができる。

【 0 0 2 7 】

また、この取引条件に基づいた取引を行うことの予約を受け付けることによって、実際にその取引条件に基づいた取引がどの程度行われるのかを予測することが可能になる。したがって店舗側ではどの程度の商品等を用意すればよいのかを把握することができる。

【 0 0 2 8 】

第 3 発明による場合、取引を行う場合の取引条件を、取引の予約の予約状況に基づいて決定する。したがって、時間が経過する都度変化する状況に応じた適切な取引条件を決定することができる。

【 0 0 2 9 】

第 4 発明による場合、予約された取引条件に基づいた取引を行う場合に、その取引の予約が実際にされているか否かを確認する。

【 0 0 3 0 】

これにより、タイムサービス及び見切り品の提供等の特別なサービスを、そのサービスの提供の予約をした顧客のみが享受することができ、それ以外の顧客はこのサービスを享受することができない。したがって、このような特別なサービスの提供を受けるために、その予約をするように顧客を促すことができる。

【 0 0 3 1 】

第5発明による場合、特定の取引条件に基づいた取引の予約がなされていることが確認できた場合、この取引条件に応じた特典を顧客に提供する。

【 0 0 3 2 】

このように、特定の取引条件に基づいた取引を行う代わりに、その取引条件に応じた特典、例えば有価価値に相当するポイント等が、予約して来店している顧客に与えられる。これにより、見かけ上は特定の条件に基づいた特別なサービスを提供していることがわからないので、予約をせずに来店している顧客に損失感を与えることがない。

【 0 0 3 3 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明をその実施の形態を示す図面に基づいて詳述する。

（実施の形態1）

図1は、実施の形態1における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図である。図1において、1，1…は端末装置を示しており、この端末装置1，1…は、顧客の自宅10及び勤務会社11、並びに店舗12等に設置されている。顧客の自宅10及び勤務会社11では、端末装置1，1…を介して、各店舗にて実施されているサービス内容の確認及び予約が顧客によって行われる。なお、端末装置1，1…が携帯電話等の可搬装置である場合は、顧客は必要などきに必要な場所でサービス内容の確認及び予約を行うことが可能である。

【 0 0 3 4 】

また店舗12では、端末装置1，1…を介して、サービス内容の登録、サービス内容を決定するための基礎データの登録、及び予約内容の確認等が店舗12の従業員によって行われる。

【 0 0 3 5 】

またネットワーク 3 には、端末装置 1, 1 …との間で通信を行う取引予約受付装置 2 が接続されており、例えば複数の店舗によって運営されているマシンセンタ 1 3 に設置されている。なお、取引予約受付装置 2 は、これに限らず、サービスプロバイダ等に委託してもよく、店舗内に設置するようにしてもよい。

【 0 0 3 6 】

図 2 は、実施の形態 1 における本発明の取引予約受付装置 2 の構成を示すブロック図である。図 2 において、取引予約受付装置 2 は CPU 2 1 を有し、該 CPU 2 1 に対して、CPU 2 1 において発生するデータを記憶する RAM 2 2、実施の形態 1 における本発明の取引予約受付装置 2 のプログラムが記録されている CD-ROM 又はフレキシブルディスク等の可搬型記録媒体 1 0 0 から前記プログラムを読み取る CD-ROM ドライブ又はフレキシブルディスクドライブ等からなる外部記憶装置 2 3、外部記憶装置 2 3 により読み取った本発明のプログラムを格納するハードディスク 2 4、及びネットワーク 3 に接続するための通信インタフェース 2 5 が接続されている。

【 0 0 3 7 】

またハードディスク 2 4 は、後述する 3 つのデータベース（サービス情報 DB 2 4 0、基礎データ DB 2 4 1 及び予約情報 DB 2 4 2）を有している。

【 0 0 3 8 】

実施の形態 1 における本発明の取引予約受付装置 2 のプログラムは可搬型記録媒体 1 0 0 から読み取る以外にも、ネットワーク 3 を介して外部サーバコンピュータ 4 に接続し、外部サーバコンピュータ 4 に内蔵された前記プログラムを記録してある記録媒体 5 から取引予約受付装置 2 へ前記プログラムをダウンロードすることができる。そしてこのダウンロードしたプログラムをハードディスク 2 4 に格納し、格納されたプログラムを CPU 2 1 が RAM 2 2 にロードすることによって、取引予約受付装置 2 は後述する処理を実行することができる。

【 0 0 3 9 】

次に、上述した 3 つのデータベースについて説明する。

第 1 のデータベースであるサービス情報 DB 2 4 0 は、タイムサービス等の限定された時間帯における特別なサービスに関するサービス情報を記憶する。なお

、このサービス情報は後述する手順にしたがって端末装置 1, 1…から受信する。

【0040】

図3はサービス情報DB240に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図である。図3に示すとおり、サービス情報DB240には、店舗IDフィールド40a、年月日フィールド40b、時間フィールド40c、サービス対象フィールド40d及び値引率フィールド40eの5つのフィールドが用意されている。

【0041】

店舗IDフィールド40aには、店舗を識別するための店舗識別子（以下、店舗IDという）が格納され、年月日フィールド40bにはその店舗が提供するサービスが実施される年月日が、時間フィールド40cには同じくサービスが実施される時間が夫々格納される。

【0042】

またサービス対象フィールド40dには、そのサービスの対象となる商品の商品名が格納され、値引率フィールド40eには、その商品に対して適用される値引率が格納される。なおこの値引率は後述する手順にしたがって算出される。

【0043】

図3に示すフォーマット例では、例えば店舗IDが“A”である店舗において、1999年11月10日の午前9時乃至午前11時において、この店舗が扱っている商品が一律10%値引きされて提供されることを示している。

【0044】

第2のデータベースである基礎データDB241は、上述した値引率を算出する際に使用する各種のデータ（以下、基礎データという）をテーブル形式で記憶する。なお、これらの基礎データは後述する手順にしたがって端末装置 1, 1…から受信する。

【0045】

図4は基礎データDB241に格納されているテーブルのフォーマット例を示す概念図である。図4（a）は来店目標人数及び予想人数テーブルを示しており

、このテーブルには、来店目標人数と来店予想人数とが時刻別に定められ格納されている。また図4（b）及び（c）は曜日係数テーブル及び天候係数テーブルを夫々示しており、このテーブルには、各曜日別及び各天候別に予想される来店人数に応じて定められた係数が夫々格納されている。さらに図4（d）は値引率テーブルを示しており、このテーブルには、後述する手順にしたがって算出された予約率に対応した値引率が格納されている。

【0046】

なお、基礎データDB241に記憶されるテーブルは上述したテーブルに限定されるものではなく、各店舗が取り扱う商品又はサービスに応じて、例えば月別又は気温別に予想される来店人数に応じて定められた係数が格納されているテーブルを記憶してもよい。またこれらのテーブルは各店舗毎に用意され記憶されている。

【0047】

第3のデータベースである予約情報DB242は、各顧客から受け付けた予約に関する予約情報を記憶する。なお、この予約情報は後述する手順にしたがって端末装置1，1…から受信する。

【0048】

図5は予約情報DB242に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図である。図5に示すとおり、予約情報DB242には、顧客IDフィールド42a、店舗IDフィールド42b、日時フィールド42c、予約データフィールド42d及び予約IDフィールド42eの5つのフィールドが用意されている。

【0049】

顧客IDフィールド42aには、顧客である各顧客毎を識別するための顧客識別子（以下、顧客IDという）が格納され、店舗IDフィールド42bには、各店舗の店舗IDが格納されている。また日時フィールド42cには予約を受け付けた日時が、予約データフィールド42dにはその予約の内容を示す情報が、予約IDフィールド42eにはその予約を識別するための予約識別子（以下、予約IDという）が夫々格納されている。

【 0 0 5 0 】

図 5 に示すフォーマット例では、例えば顧客 ID が “ 1 2 3 4 5 6 ” である顧客が、店舗 ID が “ A ” である店舗において、 1 9 9 9 年 1 1 月 1 0 日の午前 1 0 時に、商品が一律値引き 1 0 % となる割引サービスの予約を行っており、その予約の予約 ID が “ 1 ” であることを示している。

【 0 0 5 1 】

なお、顧客 ID フィールド 4 2 a に格納される顧客 ID は、例えば会員制を設けているような店舗においてはその会員の識別子を用い、またそのような会員制を設けていないような店舗においては顧客の名前等が用いられる。

【 0 0 5 2 】

次に、実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作について説明する。

図 6 はサービス情報又は基礎データの登録処理の際の実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

端末装置 1, 1 … は、サービス情報（又は基礎データ）の入力を促す画面を端末装置 1, 1 … が備える表示画面上にて表示している。この画面に対し、各店舗の従業員等は、サービス情報（又は基礎データ）の入力を行う。

【 0 0 5 3 】

端末装置 1, 1 … は、サービス情報（又は基礎データ）を受け付けた場合（ S 1 0 1 ）、受け付けたサービス情報（又は基礎データ）を取引予約受付装置 2 へ送信する（ S 1 0 2 ）。

【 0 0 5 4 】

取引予約受付装置 2 は、端末装置 1, 1 … からサービス情報（又は基礎データ）を受信した場合（ S 2 0 1 ）、受信したサービス情報（又は基礎データ）をサービス情報 DB 2 4 0 （又は基礎データ DB 2 4 1 ）に登録する（ S 2 0 2 ）。そしてサービス情報 DB 2 4 0 （又は基礎データ DB 2 4 1 ）への登録が完了したことを示す登録完了情報を端末装置 1, 1 … へ送信する（ S 2 0 3 ）。

【 0 0 5 5 】

端末装置 1, 1 … は、取引予約受付装置 2 から登録完了情報を受信した場合（

S103)、受信した登録完了情報を端末装置1、1…が備える表示画面上に表示する(S104)。

【0056】

このようにして店舗の従業員等は所望のサービス情報(又は基礎データ)を取引予約受付装置2へ登録することができる。これらの登録処理は以前に登録したサービス情報(又は基礎データ)の変更が必要であると判断された場合にその都度実行される。

【0057】

図7は、サービス情報を表示する際の実施の形態1における取引予約受付装置2の動作の流れを示すフローチャートである。

取引予約受付装置2は、予約をせずに来店する顧客の予想人数である未予約来店予想人数を算出する(S301)。この算出は、例えば図4(a)に示した来店目標人数及び予想人数テーブルに格納されている来店予想人数に、図4(b)に示した曜日係数テーブルに格納されている係数、及び図4(c)に示した天候係数テーブルに格納されている係数を乗じることによって行われる。この算出例によれば、例えば雨が降っている土曜日の午前10時における未予約来店予想人数は、10時の来店予想人数である50(人)に、雨の場合の天候係数である80(%)及び土曜日の場合の曜日係数である120(%)を乗じて得られた結果である48(人)となる。

【0058】

次に、ステップS301にて算出した未予約来店予想人数に基づいて、後述するようにして各顧客が行った予約の予約率を算出する(S302)。この算出は、例えば予約の累積数を示す予約数を、図4(a)に示した来店目標人数及び予想人数テーブルに格納されている来店目標人数から前記未予約来店予想人数を減じた値で割ることによって行われる。この算出例によれば、例えば雨が降っている土曜日の午前10時における予約数が76の場合の予約率は、 $76 / (200 - 48)$ の結果である0.5、すなわち50(%)となる。

【0059】

次に、ステップS302にて算出した予約率に基づいて提供するサービスにお

ける値引率を算出する（S 3 0 3）。この算出は、図 4（d）に示した値引率テーブルを用いて行う。したがって上述の例のように予約率が 5 0（％）の場合は、値引き率は 2 0（％）となる。

【0 0 6 0】

このようにして算出された値引率をサービス情報 DB 2 4 0 の値引率フィールド 4 0 e に格納することによってサービス情報 DB 2 4 0 の内容を更新する（S 3 0 4）。そして更新されたサービス情報 DB 2 4 0 の内容を表示する（S 3 0 5）。ここで表示とはネットワーク 3 上に公開することを示しており、各顧客は端末装置 1，1…を用いてこのサービス情報 DB 2 4 0 の内容を確認することができる。

【0 0 6 1】

なお、値引率はこのように取引予約受付装置 2 が算出する以外にも、各店舗の従業員等によって定めた値としてもよい。この場合は、従業員が端末装置 1，1…を用いてその値引率の値を取引予約受付装置 2 へ送信する。そして取引予約受付装置 2 は、受信した値引率の値をサービス情報 DB 2 4 0 の値引率フィールド 4 0 e に格納し、これを表示する。

【0 0 6 2】

上述した処理は、顧客の端末装置 1，1…からサービス情報の表示の要求があった場合に行ってもよく、また一定時間毎にステップ S 3 0 1 乃至 S 3 0 4 を実行しておき、顧客の端末装置 1，1…からサービス情報の表示の要求があった場合にステップ S 3 0 5 を実行するようにしてもよい。

【0 0 6 3】

図 8 は、予約を受け付ける際の実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

端末装置 1，1…は、予約の申込みを示す予約申込情報の入力を促す画面を端末装置 1，1…が備える表示画面上にて表示している。この画面に対し、各顧客は、予約申込情報の入力を行う。

【0 0 6 4】

端末装置 1，1…は、予約申込情報を受け付けた場合（S 4 0 1）、受け付け

た予約申込情報を取引予約受付装置2へ送信する(S402)。

【0065】

取引予約受付装置2は、端末装置1, 1…から予約申込情報を受信した場合(S501)、受信した予約申込情報を予約情報DB242に登録する(S502)。そして予約情報DB242への登録が完了したことを示す登録完了情報を端末装置1, 1…へ送信する(S503)。この登録完了情報には、予約情報DB242への登録の際に採番された予約IDが含まれている。

【0066】

端末装置1, 1…は、取引予約受付装置2から登録完了情報を受信した場合(S403)、受信した登録完了情報を端末装置1, 1…が備える表示画面上に表示する(S404)。

【0067】

なお上述した予約IDは数字でもよいし、バーコード等でもよい。予約IDが数字の場合は、顧客は予約IDを紙に書き取る等して店舗に持参し、精算時にレジ係員に口頭で伝える。また別の形態としては、予約IDの数字又はバーコード等を印刷装置にて印刷し、印刷されたものを店舗に持参するようにしてもよい。この場合では、店舗の端末装置1, 1…にてOCR又はバーコードリーダを利用して予約IDの確認をすることができる。またこの場合は端末装置1, 1…は取引予約の専用装置ではなく、POS端末であってもよい。

【0068】

さらに、予約IDを携帯電話の記憶装置に記憶させてこれを店舗に持参し、店舗内の端末装置1, 1…と携帯電話とを通信させることによって予約IDの確認を行うようにしてもよい。

【0069】

さらに、会員制を導入している店舗においては、予約IDではなく、会員の会員番号で予約の有無を確認するようにしてもよい。この場合では、精算時に会員カードの読み取りを行う際に、予約情報DB242の顧客IDフィールド42aに格納されている顧客IDと会員カードに書き込まれている会員番号とを突き合わせるによって予約の確認をすることができる。

【0070】

このようにして各顧客は所望の予約の申込みを行うことができる。また取引予約受付装置2は、この予約の申込みに応じて上述した予約率及び値引率の値が変更される場合があるので、その場合は上述した手順にしたがってサービス情報DB240の更新を行った後に新たなサービス情報をネットワーク3上に公開する。

【0071】

各顧客は、予約した時間に各店舗へ出向き、予約IDを店頭にて伝える。そして後述する手順にしたがってこの予約の確認が行われる。

【0072】

図9は、予約の確認を行う際の実施の形態1における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

各店舗において、予約IDが伝えられた場合、従業員等は、予約の確認を行うためにこの予約IDを含む予約確認情報を端末装置1, 1…へ入力する。端末装置1, 1…は、予約確認情報を受け付けた場合(S601)、受け付けた予約確認情報を取引予約確認装置2へ送信する(S602)。

【0073】

取引予約受付装置2は、端末装置1, 1…から予約確認情報を受信した場合(S701)、予約情報DB242を参照し(S702)、この予約確認情報に含まれている予約IDをキーとして検索する(S703)。ここで検索に失敗した場合(S703でNO)、予約の確認ができなかったことを示す確認失敗情報を端末装置1, 1…へ送信する(S704)。

【0074】

端末装置1, 1…は、取引予約受付装置2から確認失敗情報を受信した場合(S603)、受信した確認失敗情報を端末装置1, 1…が備える表示画面上に表示する(S604)。

【0075】

一方、ステップS703にて予約情報DB242の検索に成功した場合(S703でYES)、予約の確認ができたことを示す確認成功情報を端末装置1, 1

…へ送信する（S 7 0 5）。

【 0 0 7 6 】

端末装置 1， 1 …は、取引予約受付装置 2 から確認成功情報を受信した場合（S 6 0 5）、受信した確認成功情報を端末装置 1， 1 …が備える表示画面上に表示する（S 6 0 6）。

【 0 0 7 7 】

このようにして予約が確認できた場合であって、この確認ができた時間が予約情報に示されている時間帯に含まれるとき、顧客は、その予約に係るサービスの提供を受けることができる。

【 0 0 7 8 】

なお、来店時間が予約情報に示されている時間帯に含まれる場合にそのサービスを受けることができるようにしてもよい。この場合は、例えば来店時に来店時間を印刷した紙を顧客が受け取る等して来店時間を特定することができるようにする。

【 0 0 7 9 】

また、本発明の取引予約受付システムによって実現する取引予約受付サービスをサービスプロバイダ等が代行して行う場合は、代行を依頼している側（店舗等）に対してサービスプロバイダが代行サービスの利用料を請求するようにしてもよい。この場合、請求する利用料は、一定の額としてもよく、また予約に係る取引が実際に行われた場合にその取引の取引料金に基づいて算出した額としてもよい。

【 0 0 8 0 】

（実施の形態 2）

図 1 0 は、実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図である。

実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムが備える取引予約受付装置 2 は、実施の形態 1 における本発明の取引予約受付装置 2 と異なり、ハードディスク 2 4 に第 4 のデータベースである特典ポイント D B 2 4 3 が付加されている。また実施の形態 2 における本発明の取引予約受付装置 2 のプログラムは可搬

型記録媒体 3 0 0 に記録されている。さらにそのプログラムは、外部サーバコンピュータ 4 に内蔵された記録媒体 5 に記録されており、このプログラムをダウンロードすることもできる。それ以外の構成は実施の形態 1 の場合と同様であるので、同一の符号を付して説明を省略する。

【0081】

図 1 1 は、上述した第 4 のデータベースである特典ポイント DB 2 4 3 に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図である。

図 1 1 に示すとおり、特典ポイント DB 2 4 3 には、顧客 ID フィールド 4 3 a、店舗 ID フィールド 4 3 b 及びポイントフィールド 4 3 c の 3 つのフィールドが用意されている。

【0082】

顧客 ID フィールド 4 3 a には、顧客である各顧客を識別するための顧客 ID が格納され、店舗 ID フィールド 4 3 b には、各店舗の店舗 ID が格納されている。またポイントフィールド 4 3 c には、有価価値に相当するポイント、例えば 1 ポイントで 1 円相当の商品を購入することができる等のポイントが格納されている。

【0083】

図 1 1 に示すフォーマット例では、例えば顧客 ID が “1 2 3 4 5 6” である顧客に対して、店舗 ID が “A” である店舗において使用できるポイントが 5 0 0 ポイント分与えられていることを示している。

【0084】

次に実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムの動作について説明する。なお、サービス情報及び基礎データの登録、サービス情報の表示、並びに予約の受付の各処理における動作は実施の形態 1 の場合と同様であるので説明を省略する。

【0085】

図 1 2 は、予約の確認を行う際の実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。なお、この処理において実施の形態 1 の場合と同様の処理は、同一符号を付して説明を省略する。

【 0 0 8 6 】

ステップ S 7 0 3 にて予約情報 DB 2 4 2 の検索に成功した場合（S 7 0 3 で Y E S）、確認ができた予約に係る値引率に相当するポイントを算出する（S 8 0 1）。この算出は、例えば値引額分の料金をポイントとすることによって行う。この算出例によれば、5 0 0 0 円の商品に対して値引率 1 0 % が設定される場合のポイントは、5 0 0 ポイントとなる。

【 0 0 8 7 】

このようにして算出したポイントを特典ポイント DB 2 4 3 のポイントフィールド 4 3 c に格納することによって特典ポイント DB 2 4 3 を更新する（S 8 0 2）。そしてこの更新した内容に基づき、今回追加されたポイント及びポイントの累積値を示すポイント情報を端末装置 1, 1 …へ送信する（S 8 0 3）。

【 0 0 8 8 】

端末装置 1, 1 …は、取引予約受付装置 2 からポイント情報を受信した場合（S 9 0 1）、受信したポイント情報を端末装置 1, 1 …が備える表示画面上に表示する（S 9 0 2）。

【 0 0 8 9 】

なお、本実施の形態では予約に対する取引が行われた時にポイントの算出を行う例を示しているが、所定の時間毎又は所定の件数毎等にポイントの算出を行うようにしてもよい。

【 0 0 9 0 】

このように予約の確認ができた場合、顧客は、その予約に係るサービス内容に応じたポイントを取得することができる。これにより、見かけ上は、サービス情報において示されている特別なサービスが提供されていることがわからないため、予約をせずに来店している顧客に対して損失感を与えることはない。

【 0 0 9 1 】

なお、予約が実施されなかった場合、相応のポイントをペナルティとして減算するようにしてもよい。この場合、減算するポイントは予め所定の値を定めておいてもよく、予約された商品及びサービスに応じて算出するようにしてもよい。

【 0 0 9 2 】

【発明の効果】

以上詳述した如く、請求項 1 及び請求項 2 に記載の取引予約受付方法、請求項 6 に記載の取引予約受付システム、請求項 7 に記載の取引予約受付装置、並びに請求項 8 に記載の記録媒体によれば、定めた取引条件をネットワーク上で公開することによって、割引サービス等の特定の取引条件に基づいた取引を行っていることを多くの顧客に対して迅速に伝えることができる。

【0093】

また、この取引条件に基づいた取引を行うことの予約を受け付けることによって、実際にその取引条件に基づいた取引がどの程度行われるのかを予測することが可能になる。

【0094】

また、請求項 3 に記載の取引予約受付方法によれば、取引を行う場合の取引条件を、取引の予約の予約状況に基づいて決定することによって、時間が経過する都度変化する状況に応じた適切な取引条件を決定することができる。

【0095】

また、請求項 4 に記載の取引予約受付方法によれば、予約された取引条件に基づいた取引を行う場合に、その取引の予約が実際にされているか否かを確認することによって、割引サービス等の特別なサービスを、その予約をした顧客のみが享受することができる。

【0096】

さらに、請求項 5 に記載の取引予約受付方法によれば、特定の取引条件に基づいた取引を行う代わりに、その取引条件に応じた特典を顧客に与えられることによって、見かけ上は特定の条件に基づいた特別なサービスを提供していることがわからないため、予約をせずに来店している顧客に損失感を与えることがない等、本発明は優れた効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図である。

【図 2】

実施の形態 1 における本発明の取引予約受付装置の構成を示すブロック図である。

【図 3】

サービス情報 DB に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図である。

【図 4】

基礎データ DB に格納されているテーブルのフォーマット例を示す概念図である。

【図 5】

予約情報 DB に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図である。

【図 6】

サービス情報又は基礎データの登録処理の際の実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

【図 7】

サービス情報を表示する際の実施の形態 1 における取引予約受付装置の動作の流れを示すフローチャートである。

【図 8】

予約を受け付ける際の実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

【図 9】

予約の確認を行う際の実施の形態 1 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

【図 1 0】

実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図である。

【図 1 1】

特典ポイント DB に格納されているファイルのフォーマット例を示す概念図で

ある。

【図 1 2】

予約の確認を行う際の実施の形態 2 における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャートである。

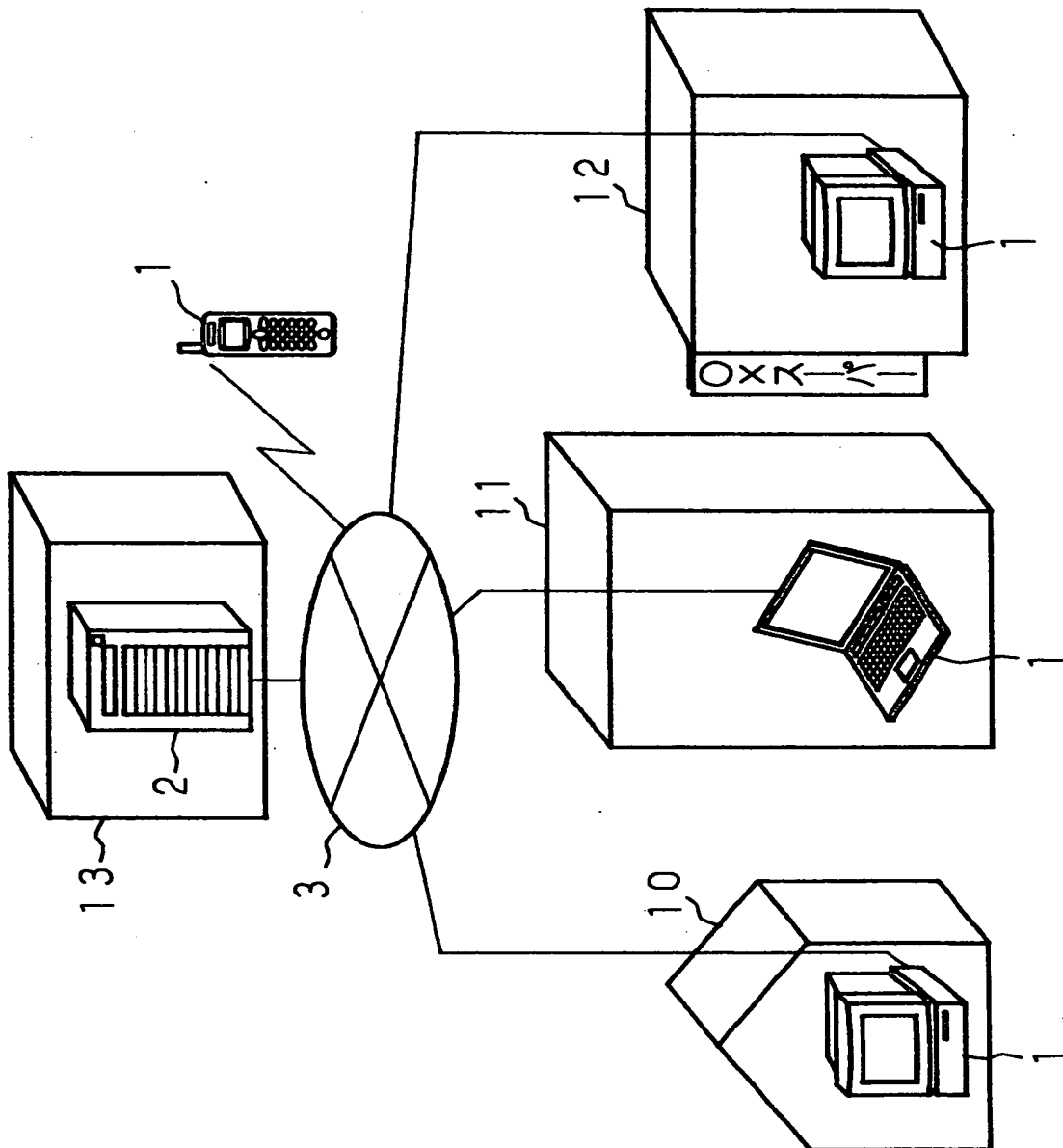
【符号の説明】

- 1 端末装置
- 2 取引予約受付装置
- 1 0 0 , 3 0 0 可搬型記録媒体
- 2 4 0 サービス情報 D B
- 2 4 1 基礎データ D B
- 2 4 2 予約情報 D B
- 2 4 3 特典ポイント D B

【書類名】 図面

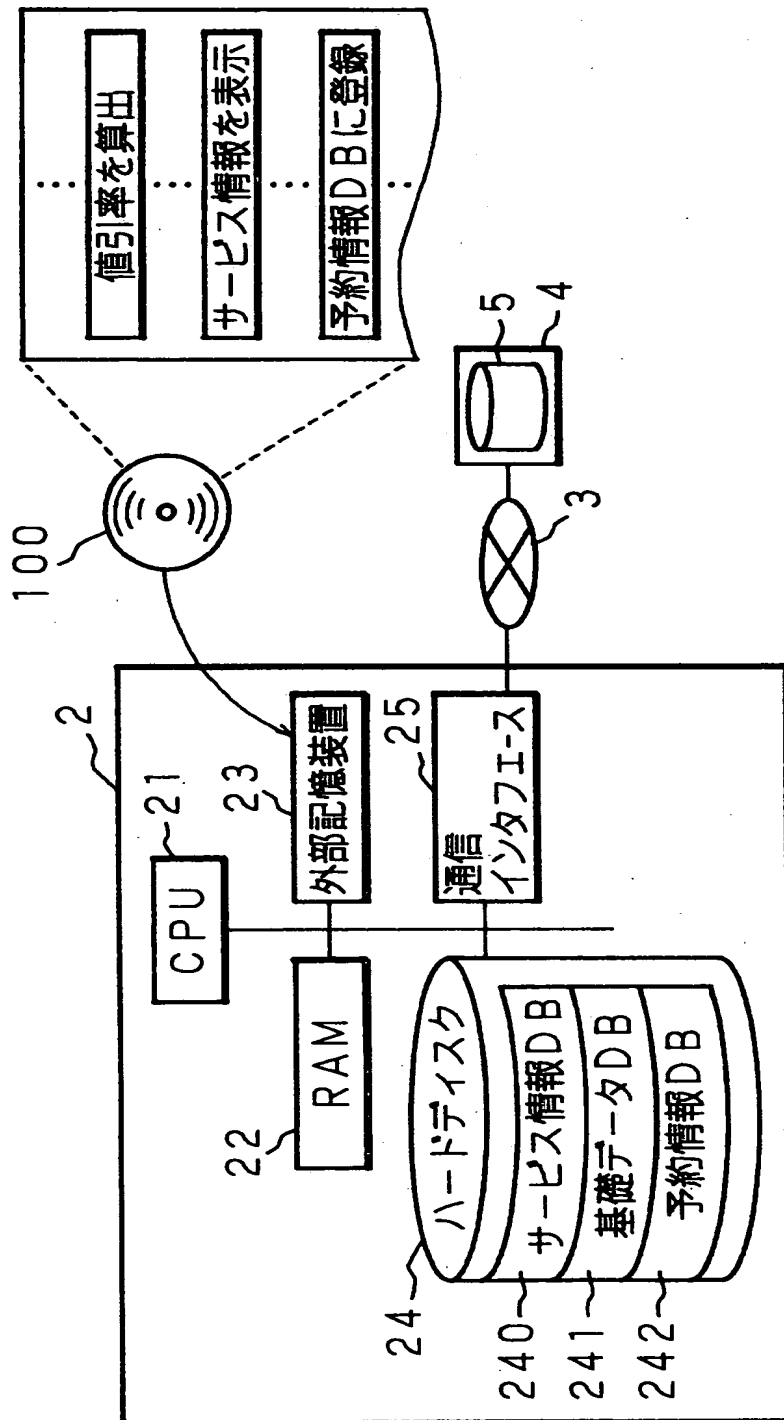
【図 1】

実施の形態1における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図



【図 2】

実施の形態１における本発明の取引予約受付装置の構成を示すブロック図



【図 3】

サービス情報DBに格納されているファイルの
フォーマット例を示す概念図

40a 店舗ID	40b 年月日	40c 時 間	40d サービス対象	40e 値引率(%)
A	1999/11/10	9:00~11:00	一 律	10
B	1999/11/10	19:00~20:00	お刺身セット	20
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図4】

基礎データDBに格納されているテーブルの
フォーマット例を示す概念図

時刻(時)	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
目標人数(人)	200	200	150	200	200	200	200	200	200	150	200
予想人数(人)	50	70	50	70	80	100	150	150	100	60	50

(a)

曜日	月	火	水	木	金	土	日
係数(%)	60	70	70	70	80	120	150

(b)

天候	晴	曇	雨
係数(%)	100	100	80

(c)

予約率(%)	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
値引率(%)	40	30	30	30	20	20	20	20	10	10	10

(d)

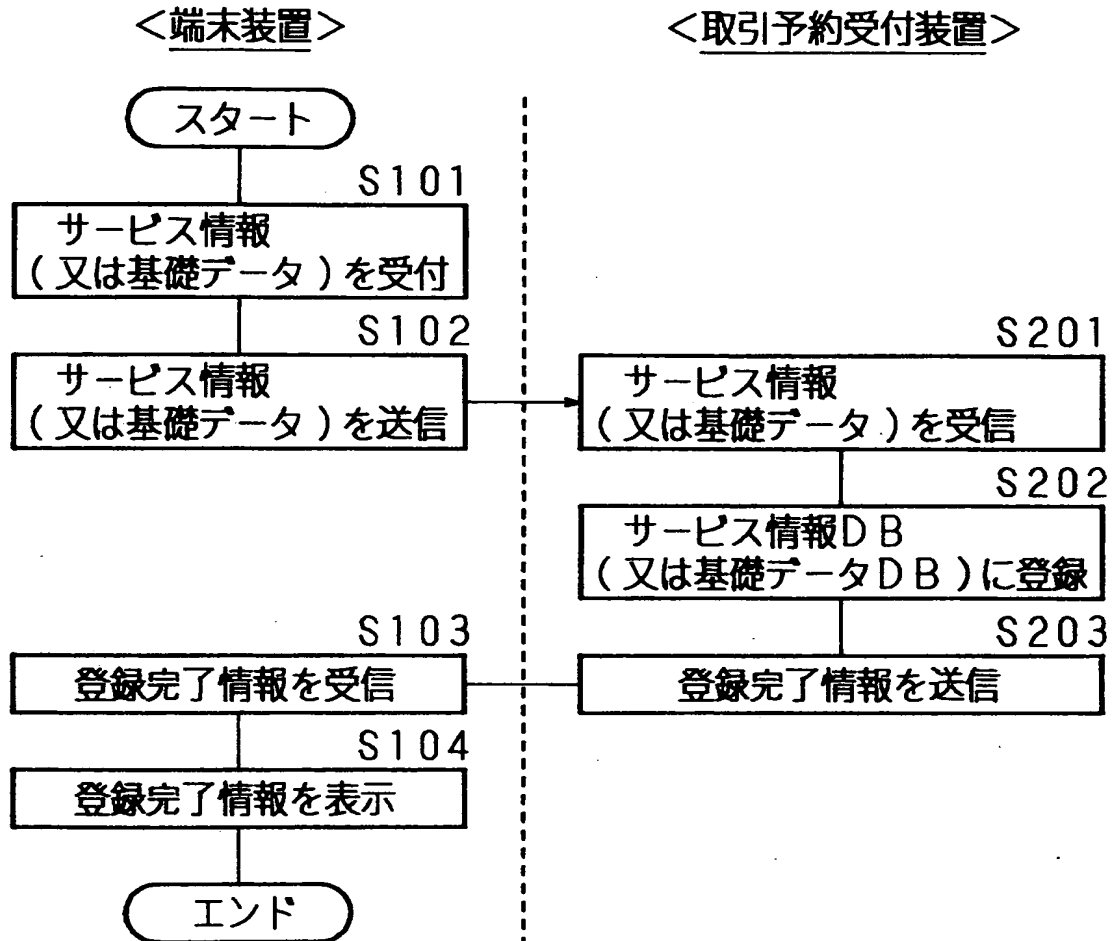
【図 5】

予約情報DBに格納されているファイルの
フォーマット例を示す概念図

顧客ID	店舗ID	日 時	予約データ	予約ID
123456	A	1999/11/10 10:00	一律値引 10%	1
333333	B	1999/11/10 19:00	お刺身セット値引 20%	2
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

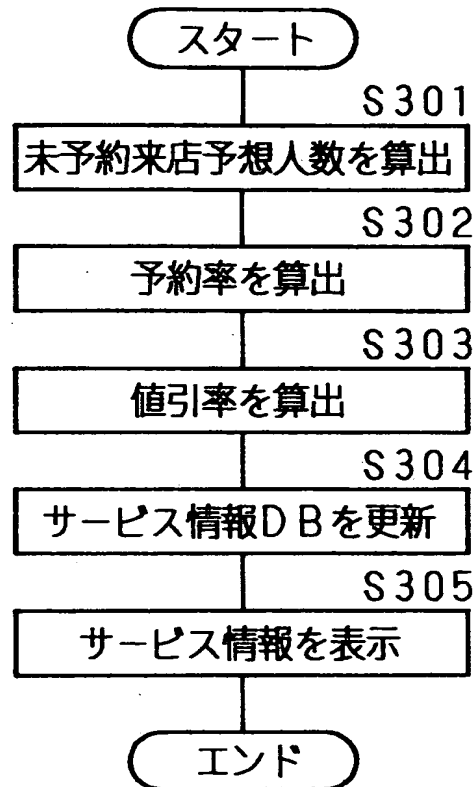
【図6】

サービス情報又は基礎データの登録処理の際の実施の形態1における
本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャート



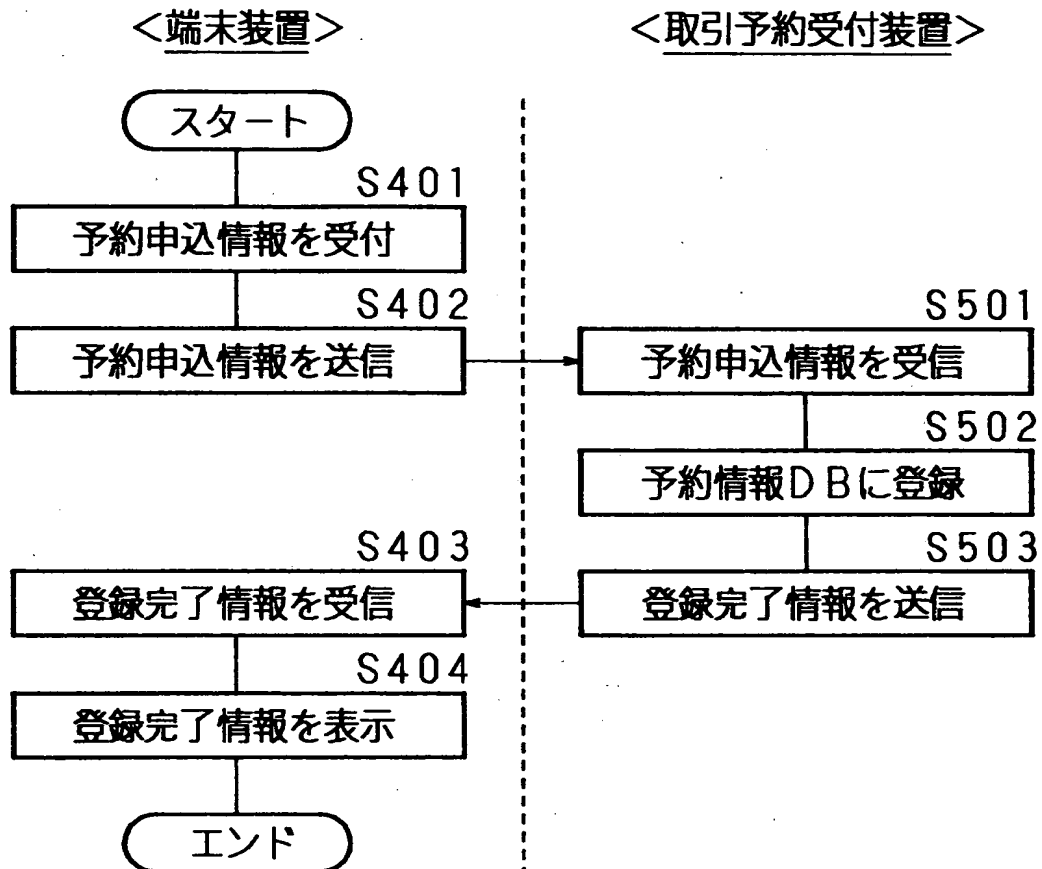
【図 7】

サービス情報を表示する際の実施の形態1における
取引予約受付装置の動作の流れを示すフローチャート



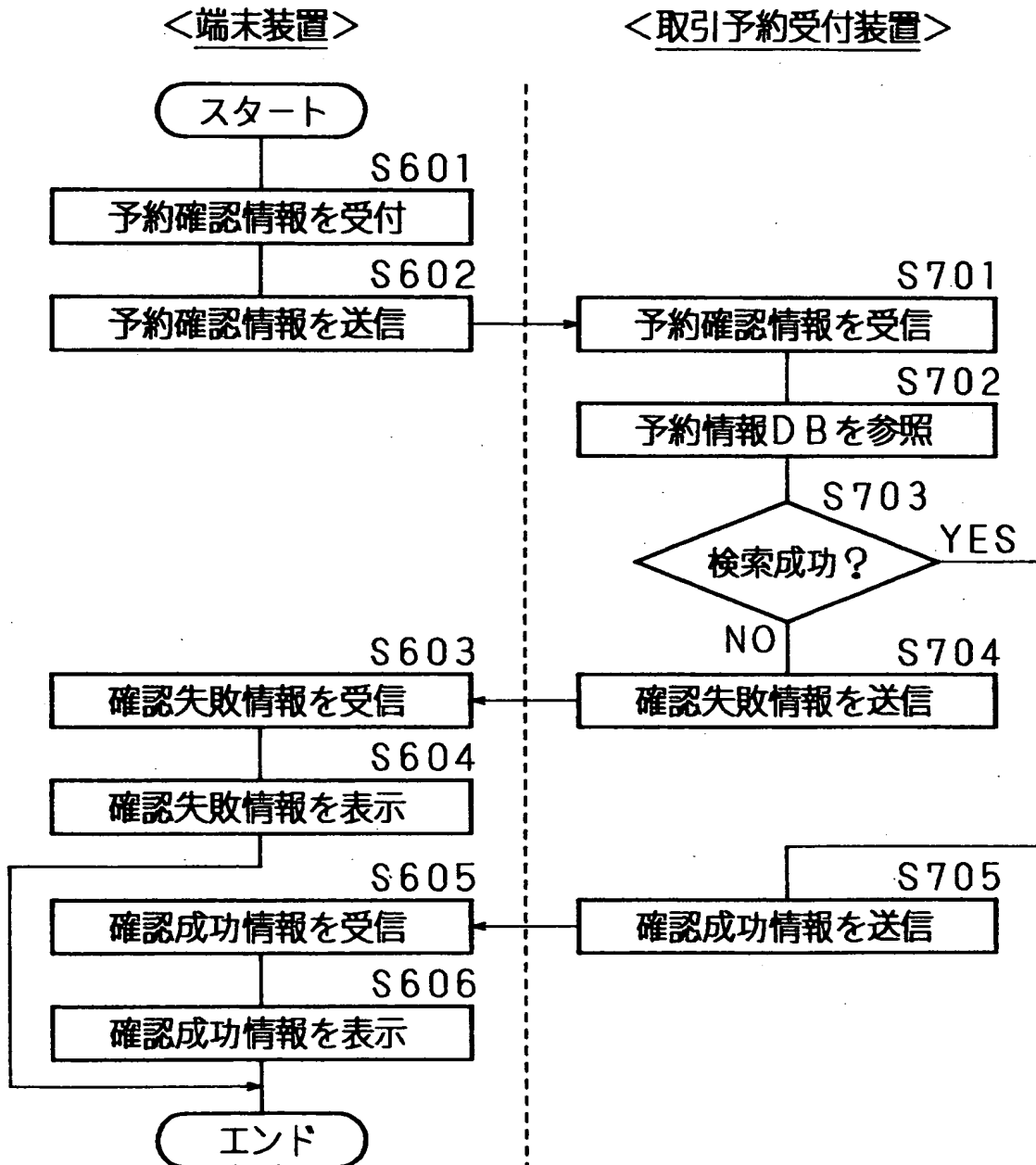
【図 8】

予約を受け付ける際の実施の形態1における本発明の取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャート



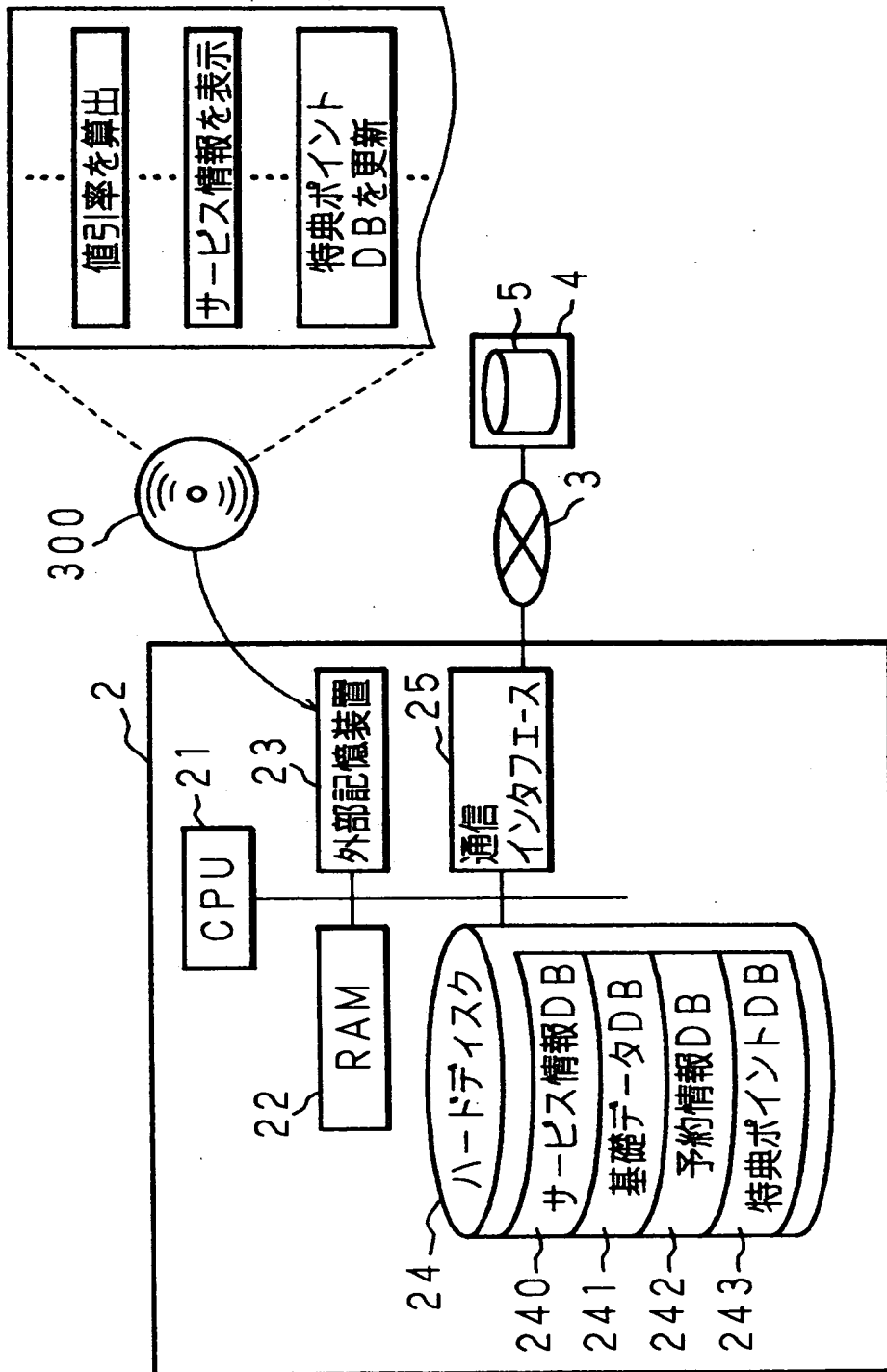
【図 9】

予約の確認を行う際の実施の形態1における本発明の
取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャート



【図10】

実施の形態2における本発明の取引予約受付システムの構成を示すブロック図



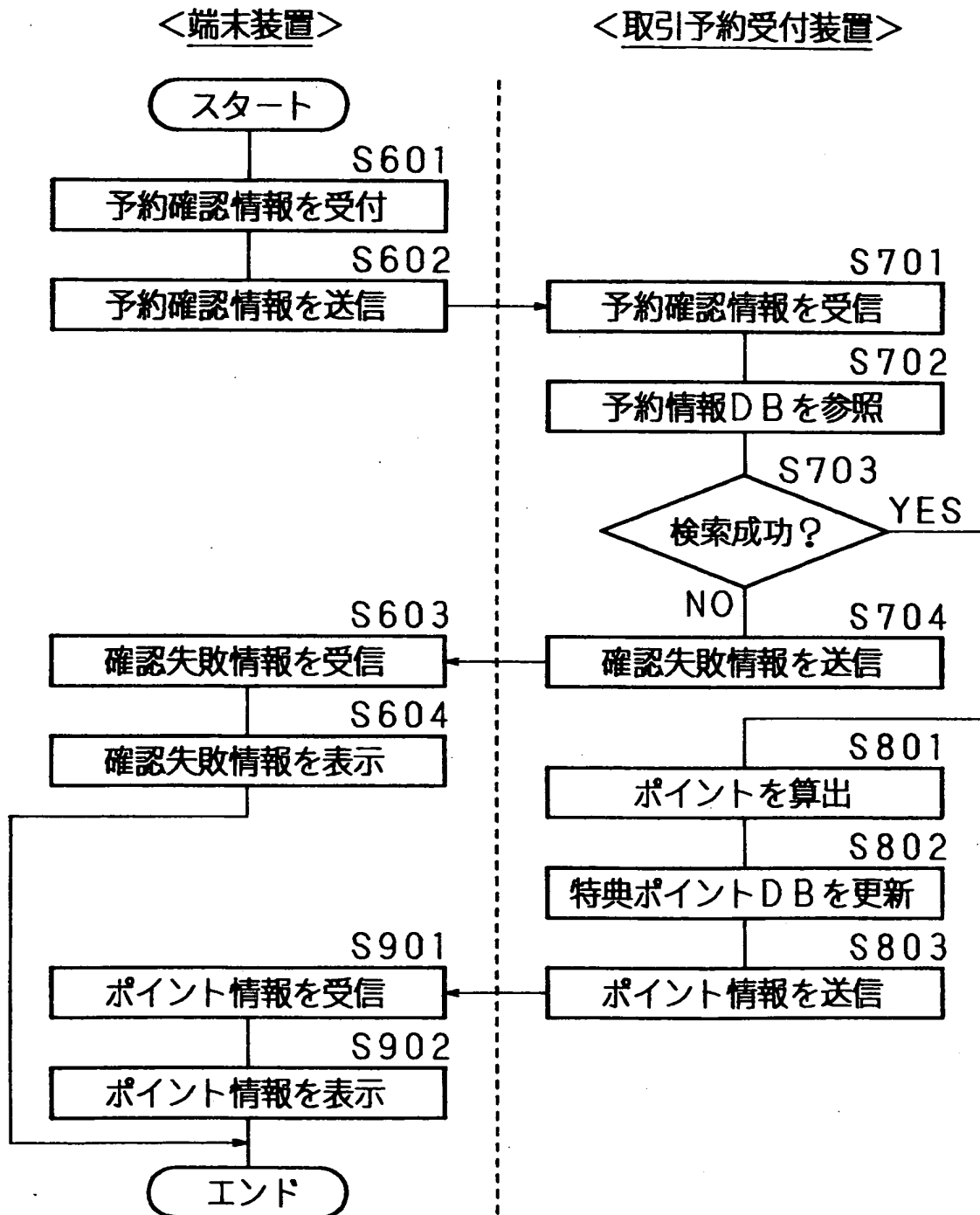
【図 11】

特典ポイントDBに格納されているファイルの
フォーマット例を示す概念図

顧客ID	店舗ID	ポイント
123456	A	500
333333	B	196
⋮	⋮	⋮

【図12】

予約の確認を行う際の実施の形態2における本発明の
取引予約受付システムの動作の流れを示すフローチャート



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 タイムサービス等の割引サービスを行っていることを多くの利用者に対して迅速に伝えることができ、しかもその予約を受け付けることができる取引予約受付方法、取引予約受付システム、取引予約受付装置及び記録媒体の提供。

【解決手段】 取引予約受付装置2は、割引サービス等のサービス情報をネットワーク3上に公開する。利用者は、端末装置1，1…を用いてこのサービス情報を参照し、所望のサービス情報に対して予約の申込みを行う。取引予約受付装置2は、端末装置1，1…から受け付けた予約の予約状況に基づいて割引サービスの内容を更新する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社